

# 枚方市商工だより

(2014年7月)

[主な内容]

地域経済動向調査 VOL-99 (2014年4~6月)

枚方市からのお知らせ (枚方市の産業振興の情報を発信中です!)

枚方市

【調査の概要】

本調査は、枚方市の委託事業として北大阪商工会議所が実施しているもので、地域経済の総合的な動向を把握することで、産業振興のための基礎資料として利用するとともに、地域の経営者等へ情報提供している。

調査対象は、製造業、建設業、卸売業、小売業、飲食業、サービス業の6業種で、市内の主要な産業を網羅している。

企業規模は、製造業は全数を、その他の業種は、従業者規模5人以上の事業所から無作為抽出している。

調査方法は、往復はがきによるアンケート方式で、2014年7月に883社に発送し、回答期限までに234社から回答が得られた。

全体の回答率は26.5%で、業種別・規模別回答状況は、表1、表2の通りである。

表1. 業種別回答状況

集約業種名		母集団	回答数	回答率
製造業	食料・飲料	21	5	23.8
	繊維・衣服	53	10	18.9
	木材・家具	13	1	7.7
	紙・出版・印刷	32	10	31.3
	化学・プラスチック	47	15	31.9
	鉄鋼・非鉄金属	27	12	44.4
	金属製品	55	12	21.8
	一般機械	59	14	23.7
	電気機械	33	7	21.2
	その他の製造業	40	13	32.5
製造業計		380	99	26.1
非製造業	建設業	108	41	38.0
	卸売業	56	16	28.6
	小売業	148	32	21.6
	飲食店	68	13	19.1
	サービス業	123	33	26.8
非製造業計		503	135	26.8
合計		883	234	26.5

表2. 規模別回答状況

規模別	製造業			非製造業			全体		
	母集団	回答数	回答率	母集団	回答数	回答率	母集団	回答数	回答率
1～3人	74	6	8.1	—	—	—	74	6	8.1
4～9人*	89	13	14.6	255	63	24.7	344	76	22.1
10～19人	69	21	30.4	125	32	25.6	194	53	27.3
20～29人	24	9	37.5	52	15	28.8	76	24	31.6
30～49人	36	17	47.2	35	11	31.4	71	28	39.4
50～99人	33	14	42.4	18	7	38.9	51	21	41.2
100～199人	35	11	31.4	12	4	33.3	47	15	31.9
200～299人	6	3	50.0	3	1	33.3	9	4	44.4
300人以上	14	5	35.7	3	2	66.7	17	7	41.2
合計	380	99	26.1	503	135	26.8	883	234	26.5

\*)非製造業の規模4～9人は5～9人である。

## 【概要】

景気は、緩やかな回復基調が続いており、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動も和らぎつつある。

先行きについては、一部に弱さが残るものの、次第にその影響が薄れ、各種政策の効果が発現するなかで、緩やかに回復していくことが期待される。ただし、海外景気の下振れが、引き続き我が国の景気を下押しするリスクとなっている。

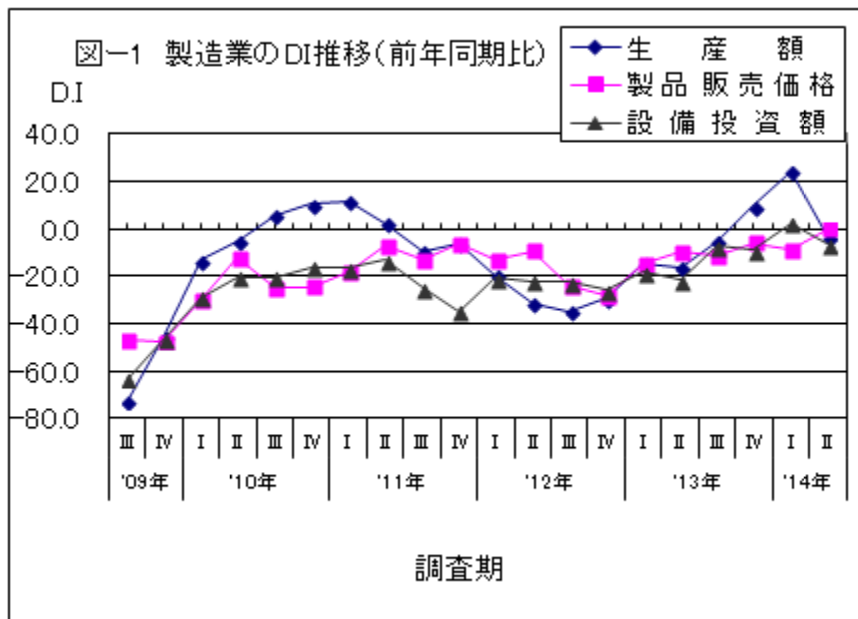
政府は7月の月例報告で、景気の基調判断を「景気は、緩やかな回復基調が続いており、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動も和らぎつつある」としている。個人消費は、「消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動により、このところ弱い動きとなっている」から「一部に弱さが残るものの、持ち直しの動きがみられる」に変更している。生産は、「消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動の影響もあって、おおむね横ばいとなっている。」から「消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動の影響もあって、このところ弱含んでいる。」に変更している。企業の業況判断は「慎重となっているものの、改善の兆しもみられる。」としている。

完全失業率は、7月は前月に比べ0.1P上昇し3.8%となった。完全失業者数は、248万人で前年同月に比べ7万人減少し、50ヶ月連続の減少となった。

帝国データバンクによると、平成26年7月の倒産件数は844件で、前月比は0.4%、前年同月比では、11.3%の減少となり、12ヶ月連続前年同月比を下回った。倒産件数のうち、不況型の倒産は703件である。構成比は83.3%で前月と比べると0.5P下回ったが、前年同月を0.2P上回った。負債額別にみると、負債5000万円未満の倒産は475件で、前年同月を8.1%下回ったものの、構成比は56.3%と高水準となった。この先、建設業の倒産増加、地方零細企業の淘汰が相まって、倒産件数が増加に転じる可能性は高い。景気DIは、前月比0.4ポイント増の46.9となり2ヶ月連続で改善した。

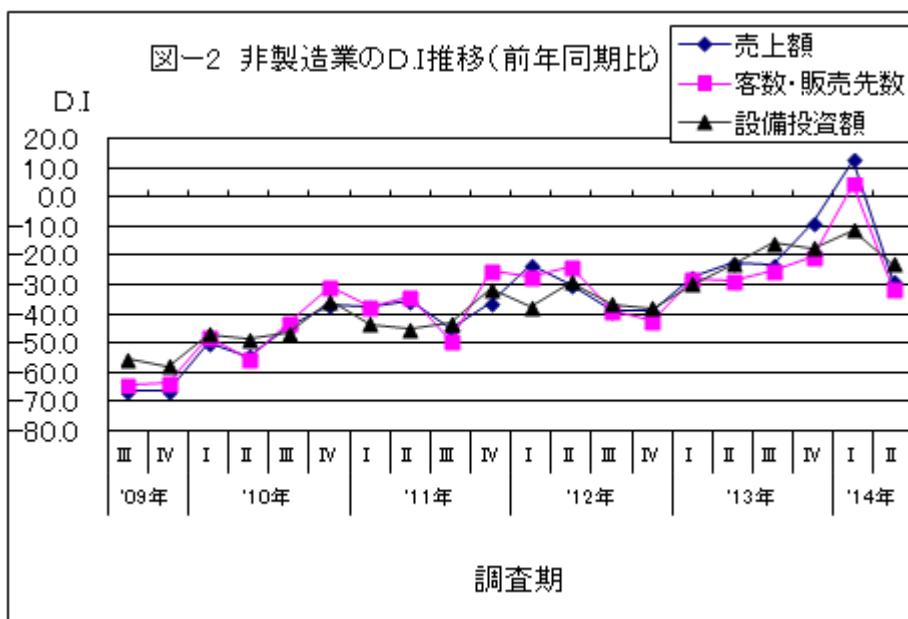
(注) 景気動向指標 (D. I = Diffusion Index)

= (増加・好転した企業の割合) - (減少・悪化した企業の割合)



2014年第2四半期(4~6月)の枚方市の前期と比較した生産額・出荷額は、D.Iがプラスからマイナスになっている。向こう3カ月の景況は、D.Iがマイナスからプラスに転じている。

前年同期比では生産額・設備投資額は、D.Iがプラスからマイナスになっている。



非製造業の、前期と比較した売上額は、D.Iがプラスからマイナスになっている。向こう3ヶ月の景況は、D.Iのマイナス幅が縮小している。

前年同期と比較した売上額、客数・販売先数は、D.Iがマイナスからプラスに転じている。

表3 総括表(DIの推移)

景気動向指標		'08年		'09年				'10年				'11年			
		Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ		
製 造 業	前 期 比	生産額	-33.0	-56.1	-70.8	-55.7	-27.8	-20.4	-21.0	-5.1	-12.4	-5.7	-3.2	-11.6	
		出荷額	-35.4	-58.8	-68.1	-58.5	-30.8	-19.6	-18.3	-5.0	-9.6	-10.5	-2.2	-16.5	
		製品在庫額	-9.7	-27.5	-23.3	-21.8	-19.6	-11.0	-17.0	-5.3	-3.0	-1.3	0.0	-14.1	
		原材料仕入額	67.7	6.3	-17.0	-1.9	7.6	-2.8	19.2	32.3	18.3	32.6	37.4	39.8	
		製品販売価格	1.0	-19.8	-38.4	-38.7	-27.4	-31.4	-21.2	-23.5	-18.8	-20.9	-8.7	-8.5	
	前 同 年 比	採算状況	-56.7	-63.2	-74.6	-63.6	-46.3	-31.5	-38.1	-33.7	-32.4	-31.0	-23.4	-38.4	
		資金繰り	-33.0	-37.2	-52.7	-45.3	-33.6	-28.0	-27.9	-21.4	-24.3	-23.3	-10.8	-14.6	
		受注状況	-43.3	-67.5	-79.8	-69.2	-34.3	-29.9	-21.9	-10.9	-13.3	-14.9	-6.5	-17.6	
	前 同 年 比	向こう3ヵ月の景況	-48.5	-77.0	-67.3	-38.3	-33.3	-30.6	-30.5	-5.0	-28.8	-15.1	-43.6	-8.1	
		生産額	-34.0	-59.6	-80.5	-84.9	-72.9	-45.8	-13.3	-5.0	5.7	10.3	11.8	2.3	
製品販売価格		2.1	-18.6	-47.3	-52.8	-46.7	-47.6	-29.8	-12.1	-24.8	-24.4	-18.0	-7.2		
前 同 年 比	設備投資額	-26.0	-43.2	-60.9	-64.1	-63.4	-46.6	-29.0	-20.6	-20.2	-16.0	-16.7	-13.3		
	非 製 造 業	前 期 比	売上額	-38.4	-52.7	-66.7	-47.9	-57.9	-43.5	-43.8	-45.7	-34.6	-24.8	-33.9	-29.4
			採算状況	-55.5	-66.4	-73.9	-60.0	-69.9	-54.4	-54.4	-54.3	-51.1	-49.6	-46.0	-55.1
前 同 年 比		資金繰り	-43.2	-44.3	-56.3	-46.2	-50.4	-40.6	-41.5	-46.5	-40.9	-42.2	-38.2	-40.3	
		向こう3ヵ月の景況	-60.0	-74.0	-67.4	-50.7	-51.9	-63.7	-46.3	-45.5	-48.1	-38.6	-51.3	-40.5	
前 同 年 比	売上額	-46.5	-60.3	-67.4	-71.7	-66.7	-66.4	-50.0	-54.4	-44.4	-37.0	-37.8	-35.6		
	客数・販売先数	-41.1	-54.3	-60.2	-62.7	-64.0	-63.7	-47.5	-55.1	-42.7	-30.4	-37.6	-34.1		
	設備投資額	-37.4	-44.9	-62.2	-60.3	-55.5	-57.8	-47.0	-48.6	-46.5	-35.8	-43.5	-45.1		

景気動向指標		'11年		'12年				'13年				'14年			
		Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ		
製 造 業	前 期 比	生産額	-2.4	-15.7	-16.1	-35.4	-40.2	-15.8	-20.2	-6.3	-5.0	12.4	9.8	-8.5	
		出荷額	-4.8	-15.0	-12.0	-38.8	-41.7	-16.0	-20.4	-12.6	-4.0	12.5	8.8	-10.8	
		製品在庫額	-10.1	-11.5	-3.4	-7.3	-11.0	-1.1	1.1	-6.5	-4.2	-1.0	-2.2	-3.3	
		原材料仕入額	35.7	19.5	28.3	9.3	-1.0	17.4	31.2	47.9	37.8	40.8	38.5	50.5	
		製品販売価格	-10.8	-12.2	-20.9	-10.3	-22.3	-20.4	-16.3	-6.3	-7.1	-4.9	-10.0	1.1	
	前 同 年 比	採算状況	-30.6	-14.5	-31.5	-38.4	-36.7	-27.4	-26.9	-26.0	-25.0	-17.3	-7.6	-22.3	
		資金繰り	-19.3	-14.8	-19.8	-29.9	-16.7	-17.4	-9.8	-13.7	-23.7	-13.6	-15.4	-12.9	
		受注状況	-22.4	-22.9	-22.6	-36.1	-41.8	-28.4	-28.7	-16.7	-5.0	11.4	2.2	-9.8	
	前 同 年 比	向こう3ヵ月の景況	-20.5	-28.8	-18.7	-24.7	-37.5	-16.3	-8.8	-1.1	-2.0	0.0	-31.1	5.4	
		生産額	-9.4	-6.1	-19.4	-31.3	-34.7	-29.5	-14.9	-16.5	-5.0	9.5	23.9	-3.2	
製品販売価格		-13.3	-6.2	-13.3	-9.3	-24.0	-28.0	-15.1	-9.4	-11.1	-5.8	-9.0	0.0		
前 同 年 比	設備投資額	-25.0	-35.0	-20.9	-22.1	-22.7	-25.8	-18.5	-21.9	-7.1	-8.8	2.2	-6.5		
	非 製 造 業	前 期 比	売上額	-35.3	-24.3	-22.4	-30.6	-34.2	-33.9	-24.8	-23.0	-12.1	0.0	7.7	-20.1
			採算状況	-56.7	-41.7	-34.8	-44.6	-48.2	-40.9	-31.9	-35.4	-27.6	-22.0	-21.6	-24.3
前 同 年 比		資金繰り	-47.5	-37.7	-26.1	-40.0	-37.8	-30.4	-27.4	-27.0	-24.0	-17.1	-10.4	-19.7	
		向こう3ヵ月の景況	-37.0	-40.0	-36.8	-46.6	-46.3	-38.9	-16.1	-8.3	-15.2	-13.4	-36.8	-18.8	
前 同 年 比	売上額	-45.0	-36.3	-23.3	-30.3	-39.1	-38.9	-27.4	-22.3	-22.9	-9.0	12.9	-28.6		
	客数・販売先数	-48.9	-25.3	-27.2	-24.1	-39.2	-42.1	-27.7	-28.8	-25.0	-20.5	4.7	-31.1		
	設備投資額	-43.1	-31.5	-37.7	-29.1	-36.8	-38.2	-29.7	-22.9	-15.7	-17.4	-11.4	-22.8		

# 1. 製造業の景気動向

## ①【生産額】

前期と比べた当期（2014年4～6月）の生産額は、増加24.5%、横這42.6%、減少33.0%となっている。総合D.Iはマイナス8.5Pである。業種別にみると、食料・飲料は増加が増え、前回0だったD.Iがプラスに転じている。一般機械、電気機械は増加と減少が拮抗している。

前年同期比では、増加28.7%、横這39.4%、減少31.9%となっている。総合D.Iはマイナス3.2Pである。業種別にみると、化学・プラスチック、金属製品は、増加が減り、D.Iのプラス幅が縮小している。

表4. 生産額

業種	当期の生産額は										
	前期に比べ					前年同期に比べ					
	件数	増加	横這	減少	D.I	件数	増加	横這	減少	D.I	
製造業	食料・飲料	5	40.0	40.0	20.0	20.0	5	20.0	60.0	20.0	0.0
	繊維・衣服	10	10.0	40.0	50.0	-40.0	10	10.0	60.0	30.0	-20.0
	木材・家具	1	100.0	0.0	0.0	100.0	1	100.0	0.0	0.0	100.0
	紙・出版・印刷	10	10.0	50.0	40.0	-30.0	10	10.0	50.0	40.0	-30.0
	化学・プラスチック	15	26.7	33.3	40.0	-13.3	15	46.7	26.7	26.7	20.0
	鉄鋼・非鉄金属	12	16.7	50.0	33.3	-16.7	12	25.0	75.0	0.0	25.0
	金属製品	12	41.7	33.3	25.0	16.7	12	50.0	16.7	33.3	16.7
	一般機械	14	28.6	42.9	28.6	0.0	14	21.4	14.3	64.3	-42.9
	電気機械	7	14.3	71.4	14.3	0.0	7	14.3	28.6	57.1	-42.9
	その他の製造業	8	25.0	37.5	37.5	-12.5	8	37.5	50.0	12.5	25.0
製造業計	94	24.5	42.6	33.0	-8.5	94	28.7	39.4	31.9	-3.2	

## ②【出荷額】

当期の出荷額は、増加22.6%、横這44.1%、減少33.3%となっている。総合D.Iはマイナス10.8Pである。業種別にみると、鉄鋼・非鉄金属は減少が減り、D.Iのマイナス幅が縮小している。

表5. 出荷額

業種	出荷額は					
	前期に比べ					
	件数	増加	横這	減少	D.I	
製造業	食料・飲料	5	40.0	40.0	20.0	20.0
	繊維・衣服	9	0.0	44.4	55.6	-55.6
	木材・家具	1	100.0	0.0	0.0	100.0
	紙・出版・印刷	10	10.0	50.0	40.0	-30.0
	化学・プラスチック	15	26.7	33.3	40.0	-13.3
	鉄鋼・非鉄金属	12	16.7	50.0	33.3	-16.7
	金属製品	12	41.7	33.3	25.0	16.7
	一般機械	14	28.6	50.0	21.4	7.1
	電気機械	7	14.3	57.1	28.6	-14.3
	その他の製造業	8	12.5	50.0	37.5	-25.0
製造業計	93	22.6	44.1	33.3	-10.8	

### ③【製品在庫額】

前期と比べた製品在庫額は、不足 6.7%、適正 83.3%、過剰 10.0%である。総合 D.I はマイナス 3.3P となっている。業種別にみると、食料・飲料、木材・家具、化学・プラスチックは全ての企業が適正である。紙・出版・印刷、金属製品、一般機械は不足と過剰が拮抗している。

表6. 製品在庫額

業 種	在庫額は 前期に比べ					
	件数	不足	適正	過剰	D.I	
製 造 業	食料・飲料	5	0.0	100.0	0.0	0.0
	繊維・衣服	9	0.0	88.9	11.1	-11.1
	木材・家具	1	0.0	100.0	0.0	0.0
	紙・出版・印刷	10	10.0	80.0	10.0	0.0
	化学・プラスチック	15	0.0	100.0	0.0	0.0
	鉄鋼・非鉄金属	11	0.0	81.8	18.2	-18.2
	金属製品	12	8.3	83.3	8.3	0.0
	一般機械	13	15.4	69.2	15.4	0.0
	電気機械	6	33.3	66.7	0.0	33.3
	その他の製造業	8	0.0	75.0	25.0	-25.0
製造業計	90	6.7	83.3	10.0	-3.3	

### ④【原材料仕入額】

前期と比べた原材料仕入額は、値上がり 52.7%、横這 45.2%、値下がり 2.2%である。総合 D.I はプラス 50.5P となっている。業種別にみると、繊維・衣服は値上がりが増え、D.I が 0 からプラスになっている。木材・家具、紙・出版・印刷、鉄鋼・非鉄金属、一般機械、その他の製造業は値上がりが増え、D.I のプラス幅が拡大している。

表7. 原材料仕入額

業 種	仕入額は 前期に比べ					
	件数	値上	横這	値下	D.I	
製 造 業	食料・飲料	5	60.0	20.0	20.0	40.0
	繊維・衣服	9	77.8	22.2	0.0	77.8
	木材・家具	1	100.0	0.0	0.0	100.0
	紙・出版・印刷	10	50.0	50.0	0.0	50.0
	化学・プラスチック	15	60.0	40.0	0.0	60.0
	鉄鋼・非鉄金属	12	58.3	41.7	0.0	58.3
	金属製品	12	33.3	66.7	0.0	33.3
	一般機械	14	42.9	57.1	0.0	42.9
	電気機械	7	28.6	71.4	0.0	28.6
	その他の製造業	8	62.5	25.0	12.5	50.0
製造業計	93	52.7	45.2	2.2	50.5	

## ⑤【製品販売価格】

前期と比べた製品販売価格は、値上がり 10.8%、横這 79.6%、値下がり 9.7%である。総合 D.I は 1.1P となっている。業種別にみると、繊維・衣服、紙・出版・印刷、鉄鋼・非鉄金属は値上がりと値下がりが拮抗している。

前年同期比では、値上がり 12.9%、横這 74.2%、値下がり 12.9%である。総合 D.I は 0P となっている。業種別にみると、食料・飲料、木材・家具、化学・プラスチックは前回 0 だった値上がりがみられ、D.I が 0 からプラスに転じている。

表8. 製品販売価格

業 種	当期の販売価格は										
	前期に比べ					前年同期に比べ					
	件数	値上	横這	値下	D.I	件数	値上	横這	値下	D.I	
製 造 業	食料・飲料	5	40.0	60.0	0.0	40.0	5	40.0	60.0	0.0	40.0
	繊維・衣服	9	11.1	77.8	11.1	0.0	9	0.0	88.9	11.1	-11.1
	木材・家具	1	100.0	0.0	0.0	100.0	1	100.0	0.0	0.0	100.0
	紙・出版・印刷	10	10.0	80.0	10.0	0.0	10	0.0	80.0	20.0	-20.0
	化学・プラスチック	15	13.3	86.7	0.0	13.3	15	20.0	80.0	0.0	20.0
	鉄鋼・非鉄金属	12	8.3	83.3	8.3	0.0	12	16.7	83.3	0.0	16.7
	金属製品	12	8.3	91.7	0.0	8.3	12	8.3	75.0	16.7	-8.3
	一般機械	14	0.0	71.4	28.6	-28.6	14	7.1	57.1	35.7	-28.6
	電気機械	7	0.0	100.0	0.0	0.0	7	14.3	71.4	14.3	0.0
	その他の製造業	8	12.5	62.5	25.0	-12.5	8	12.5	75.0	12.5	0.0
製造業計	93	10.8	79.6	9.7	1.1	93	12.9	74.2	12.9	0.0	

## ⑥【採算状況】

前期と比べた採算状況は、好転 8.5%、横這 60.6%、悪化 30.9%である。総合 D.I はマイナス 22.3P である。業種別にみると、繊維・衣服、紙・出版・印刷、化学・プラスチック、その他の製造業は悪化が増え、D.I のマイナス幅が拡大している。

表9. 採算状況

業 種	採算状況は					
	前期に比べ					
	件数	好転	横這	悪化	D.I	
製 造 業	食料・飲料	5	0.0	80.0	20.0	-20.0
	繊維・衣服	10	0.0	60.0	40.0	-40.0
	木材・家具	1	0.0	100.0	0.0	0.0
	紙・出版・印刷	10	0.0	50.0	50.0	-50.0
	化学・プラスチック	15	13.3	60.0	26.7	-13.3
	鉄鋼・非鉄金属	12	8.3	58.3	33.3	-25.0
	金属製品	12	25.0	58.3	16.7	8.3
	一般機械	14	7.1	64.3	28.6	-21.4
	電気機械	7	14.3	57.1	28.6	-14.3
	その他の製造業	8	0.0	62.5	37.5	-37.5
製造業計	94	8.5	60.6	30.9	-22.3	



## ⑦【資金繰り】

前期と比べた当期の資金繰りは、好転 6.5%、横這 74.2%、悪化 19.4%である。総合 D. I はマイナス 12.9P となっている。業種別にみると、食料・飲料、紙・出版・印刷、鉄鋼・非鉄金属、その他の製造業は悪化が減り、D. I のマイナス幅が縮小している。電気機械は前回 0 だった好転がみられ、D. I がマイナスからプラスに転じている。

表10. 資金繰り

業種	資金繰りは 前期に比べ					
	件数	好転	横這	悪化	D.I	
製 造 業	食料・飲料	5	0.0	80.0	20.0	-20.0
	繊維・衣服	9	0.0	44.4	55.6	-55.6
	木材・家具	1	0.0	100.0	0.0	0.0
	紙・出版・印刷	10	0.0	90.0	10.0	-10.0
	化学・プラスチック	15	6.7	86.7	6.7	0.0
	鉄鋼・非鉄金属	12	8.3	66.7	25.0	-16.7
	金属製品	12	16.7	83.3	0.0	16.7
	一般機械	14	0.0	71.4	28.6	-28.6
	電気機械	7	28.6	57.1	14.3	14.3
	その他の製造業	8	0.0	75.0	25.0	-25.0
製造業計	93	6.5	74.2	19.4	-12.9	

## ⑧【受注状況】

前期と比べた当期の受注状況は、増加 20.7%、横這 48.9%、減少 30.4%である。総合 D. I はマイナス 9.8P となっている。業種別にみると、食料・飲料、紙・出版・印刷、電気機械は減少が増え、D. I が 0 からマイナスになっている。

表11. 受注状況

業種	受注状況は 前期に比べ					
	件数	増加	横這	減少	D.I	
製 造 業	食料・飲料	5	0.0	80.0	20.0	-20.0
	繊維・衣服	10	10.0	50.0	40.0	-30.0
	木材・家具	1	0.0	100.0	0.0	0.0
	紙・出版・印刷	8	12.5	50.0	37.5	-25.0
	化学・プラスチック	15	26.7	46.7	26.7	0.0
	鉄鋼・非鉄金属	12	16.7	50.0	33.3	-16.7
	金属製品	12	33.3	41.7	25.0	8.3
	一般機械	14	28.6	42.9	28.6	0.0
	電気機械	7	14.3	57.1	28.6	-14.3
	その他の製造業	8	25.0	37.5	37.5	-12.5
製造業計	92	20.7	48.9	30.4	-9.8	

### ⑨ 【設備投資額】

前年同期と比べた当期の設備投資額は、増加 18.3%、横這 57.0%、減少 24.7%である。総合 D.I はマイナス 6.5P となっている。業種別にみると、食料・飲料、化学・プラスチック、一般機械は増加が減り、D.I がプラスからマイナスになっている。

表12. 設備投資額

業 種	設備投資額は 前年同期に比べ					
	件数	増加	横這	減少	D.I	
製 造 業	食料・飲料	5	0.0	80.0	20.0	-20.0
	繊維・衣服	9	0.0	66.7	33.3	-33.3
	木材・家具	1	0.0	100.0	0.0	0.0
	紙・出版・印刷	10	30.0	60.0	10.0	20.0
	化学・プラスチック	15	6.7	66.7	26.7	-20.0
	鉄鋼・非鉄金属	12	33.3	58.3	8.3	25.0
	金属製品	12	41.7	25.0	33.3	8.3
	一般機械	14	21.4	50.0	28.6	-7.1
	電気機械	7	0.0	42.9	57.1	-57.1
	その他の製造業	8	12.5	75.0	12.5	0.0
製造業計	93	18.3	57.0	24.7	-6.5	

### ⑩ 【向こう3カ月の景況】

向こう3カ月の景況は、好転 24.7%、横這 55.9%、悪化 19.4%である。総合 D.I は 5.4P となっている。業種別にみると、木材・家具、化学・プラスチック、鉄鋼・非鉄金属、金属製品、一般機械、電気機械は好転が増え、D.I がマイナスからプラスに転じている。

表13. 向こう3カ月の景況

業 種	向こう 3カ月の景況					
	件数	好転	横這	悪化	D.I	
製 造 業	食料・飲料	5	0.0	60.0	40.0	-40.0
	繊維・衣服	10	10.0	60.0	30.0	-20.0
	木材・家具	1	100.0	0.0	0.0	100.0
	紙・出版・印刷	9	0.0	55.6	44.4	-44.4
	化学・プラスチック	15	26.7	66.7	6.7	20.0
	鉄鋼・非鉄金属	12	25.0	58.3	16.7	8.3
	金属製品	12	25.0	58.3	16.7	8.3
	一般機械	14	28.6	57.1	14.3	14.3
	電気機械	7	42.9	28.6	28.6	14.3
	その他の製造業	8	50.0	50.0	0.0	50.0
製造業計	93	24.7	55.9	19.4	5.4	

## 2. 建設業の景気動向

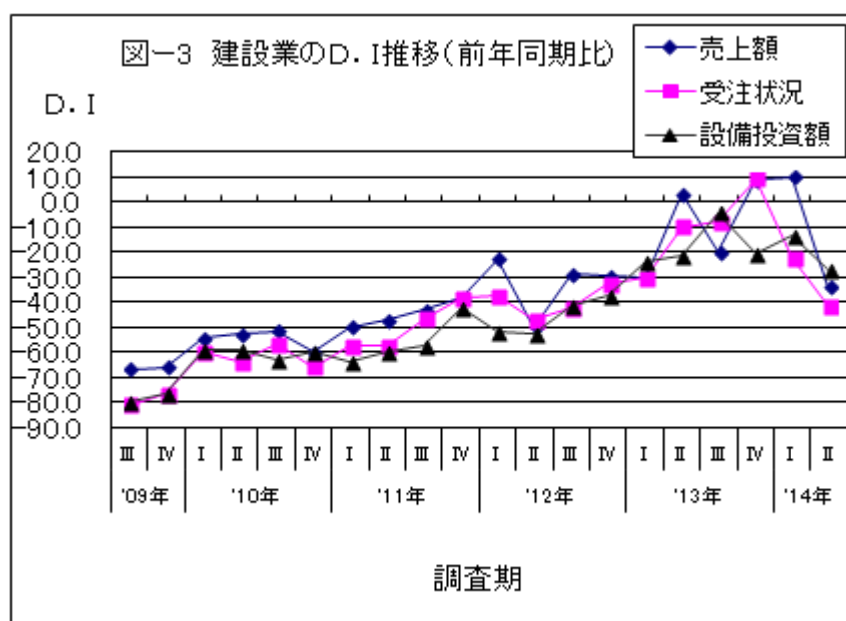
建設業の売上額は増加が減り、D. I がプラスからマイナスになっている。受注単価は値上がりが増え、D. I がマイナスから0になっている。採算状況・資金繰りは悪化が増え、D. I のマイナス幅が拡大している。

向こう3ヵ月の景況は悪化が減り、D. I のマイナス幅が縮小している。

表14. 建設業の景気動向

景気動向指標	事業所数	増加	横這	減少	D. I	
		不足	適正	過剰		
		値上	横這	値下		
		好転	横這	悪化		
前期比	売上額	41	9.8	53.7	36.6	-26.8
	資材仕入価格	41	53.7	46.3	0.0	53.7
	労務費	41	39.0	61.0	0.0	39.0
	工事引合件数	41	19.5	31.7	48.8	-29.3
	受注単価	41	17.1	65.9	17.1	0.0
	採算状況	41	7.3	58.5	34.1	-26.8
	資金繰り	41	4.9	63.4	31.7	-26.8
	受注状況	41	14.6	43.9	41.5	-26.8
	向こう3ヵ月の景況	40	15.0	52.5	32.5	-17.5
前年同期比	売上額	41	19.5	26.8	53.7	-34.1
	受注状況	41	12.2	34.1	53.7	-41.5
年比	設備投資額	41	7.3	58.5	34.1	-26.8

前年同期比では、売上額は増加が減り、D. I がプラスからマイナスになっている。受注状況は悪化が増え、D. I のマイナス幅が拡大している。設備投資額は増加が減り、D. I のマイナス幅が拡大している。



### 3. 卸売業の景気動向

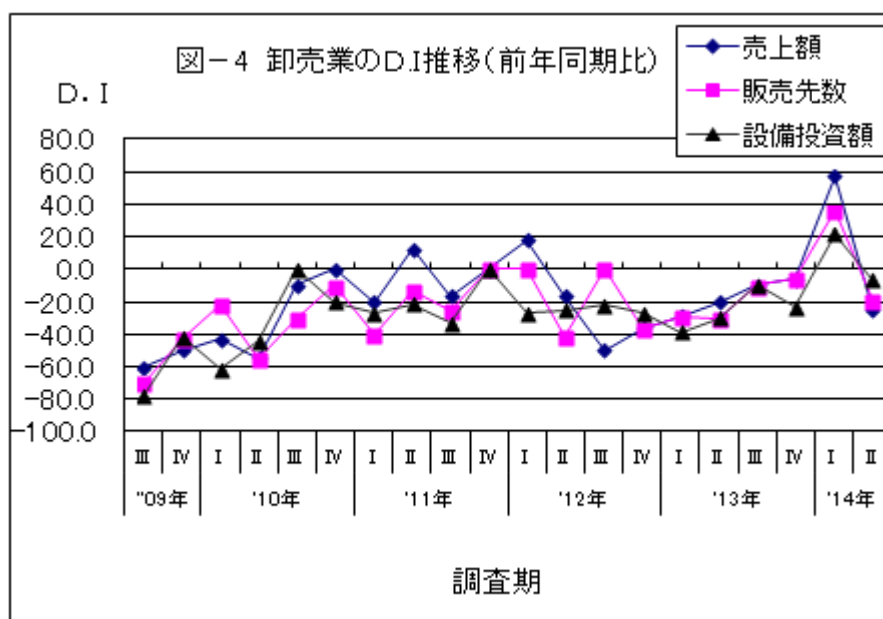
卸売業の売上額は増加が減り、D.I がプラスから 0 になっている。商品仕入価格、商品販売価格は値上がりが減り、D.I のプラス幅が縮小している。採算状況は悪化が増え、D.I が 0 からマイナスになっている。

向こう 3 ヶ月の景況は悪化が減り、D.I のマイナス幅が縮小している。

表15. 卸売業の景気動向

景気動向指標	事業所数	増加	横這	減少	D.I	
		不足	適正	過剰		
		値上	横這	値下		
		好転	横這	悪化		
前期比	売上額	16	37.5	25.0	37.5	0.0
	販売先数	16	12.5	56.3	31.3	-18.8
	客単価	16	25.0	31.3	43.8	-18.8
	商品仕入価格	16	75.0	25.0	0.0	75.0
	商品在庫	16	12.5	75.0	12.5	0.0
	商品販売価格	16	37.5	50.0	12.5	25.0
	採算状況	16	12.5	56.3	31.3	-18.8
	資金繰り	16	12.5	56.3	31.3	-18.8
	荒利益率	16	12.5	62.5	25.0	-12.5
	向こう3ヵ月の景況	16	6.3	56.3	37.5	-31.3
前年同期比	売上額	16	25.0	25.0	50.0	-25.0
	販売先数	16	18.8	43.8	37.5	-18.8
	設備投資額	15	26.7	40.0	33.3	-6.7

前年同期比では、売上額、販売先数、設備投資額は増加が減り、D.I がプラスからマイナスになっている。



#### 4. 小売業の景気動向

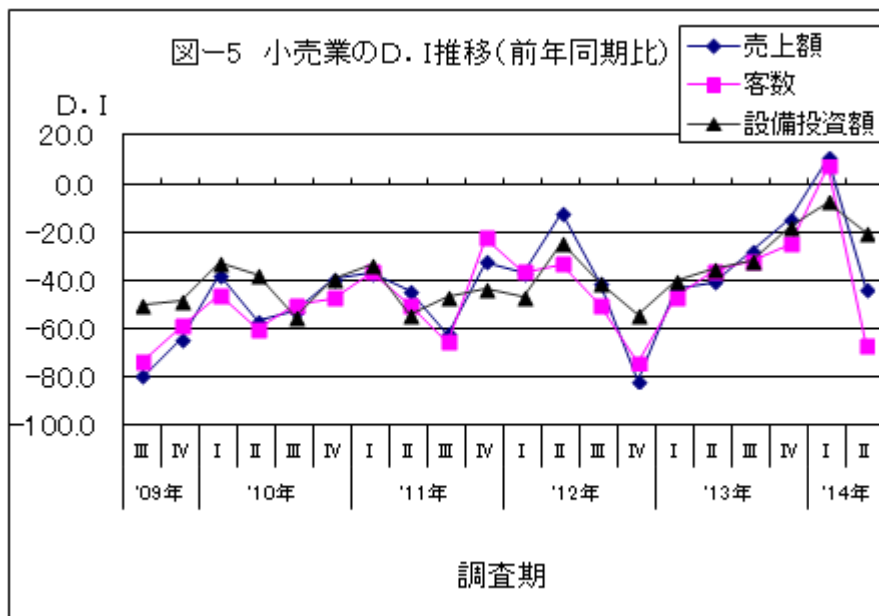
小売業の売上額、客単価は増加が減り、D. I がプラスからマイナスになっている。商品販売価格は値上がりが増え、D. I のプラス幅が拡大している。資金繰りは悪化が減り、D. I のマイナス幅が縮小している。

向こう3カ月の景況は前回0だった好転がみられ、D. I のマイナス幅が縮小している。

表16. 小売業の景気動向

景気動向指標	事業所数	増加	横這	減少	D.I	
		不足	適正	過剰		
		値上	横這	値下		
		好転	横這	悪化		
前期比	売上額	32	12.5	28.1	59.4	-46.9
	客数	32	3.1	31.3	65.6	-62.5
	客単価	32	15.6	46.9	37.5	-21.9
	商品仕入価格	32	37.5	53.1	9.4	28.1
	商品在庫	32	0.0	68.8	31.3	-31.3
	商品販売価格	32	43.8	43.8	12.5	31.3
	採算状況	32	6.3	50.0	43.8	-37.5
	資金繰り	31	6.5	67.7	25.8	-19.4
	荒利益率	32	3.1	59.4	37.5	-34.4
	向こう3カ月の景況	31	6.5	58.1	35.5	-29.0
前年同期比	売上額	30	13.3	30.0	56.7	-43.3
	客数	30	6.7	20.0	73.3	-66.7
	設備投資額	30	13.3	53.3	33.3	-20.0

前年同期比では、売上額、客数は増加が減り、D. I がプラスからマイナスになっている。設備投資額は減少が増え、D. I のマイナス幅が拡大している。



## 5. 飲食店の景気動向

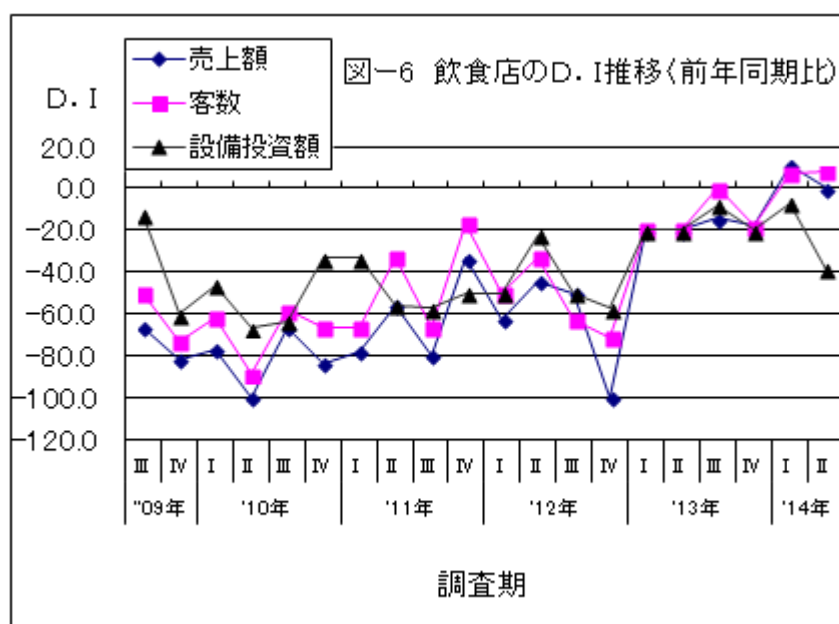
飲食店の売上額は減少が減り、D.I が 0 からプラスになっている。客単価は値上がりが減り、D.I のマイナス幅が拡大している。採算状況は好転が減り、D.I のマイナス幅が拡大している。

向こう 3 ヶ月の景況は好転が減り、D.I がプラスからマイナスになっている。

表17. 飲食店の景気動向

景気動向指標	事業所数	増加	横這	減少	D.I	
		不足	適正	過剰		
		値上	横這	値下		
		好転	横這	悪化		
前期比	売上額	13	23.1	61.5	15.4	7.7
	客数	13	23.1	53.8	23.1	0.0
	客単価	13	7.7	69.2	23.1	-15.4
	採算状況	13	15.4	46.2	38.5	-23.1
	資金繰り	13	15.4	53.8	30.8	-15.4
	荒利益率	13	7.7	38.5	53.8	-46.2
	向こう3ヵ月の景況	13	7.7	69.2	23.1	-15.4
前年同期比	売上額	13	30.8	38.5	30.8	0.0
	客数	13	38.5	30.8	30.8	7.7
年比	設備投資額	13	0.0	61.5	38.5	-38.5

前年同期比では、売上額は増加が減り、D.I がプラスから 0 になっている。客数は増加が減り、D.I のプラス幅が縮小している。設備投資額は増加がなくなり、D.I のマイナス幅が拡大している。



## 6. サービス業の景気動向

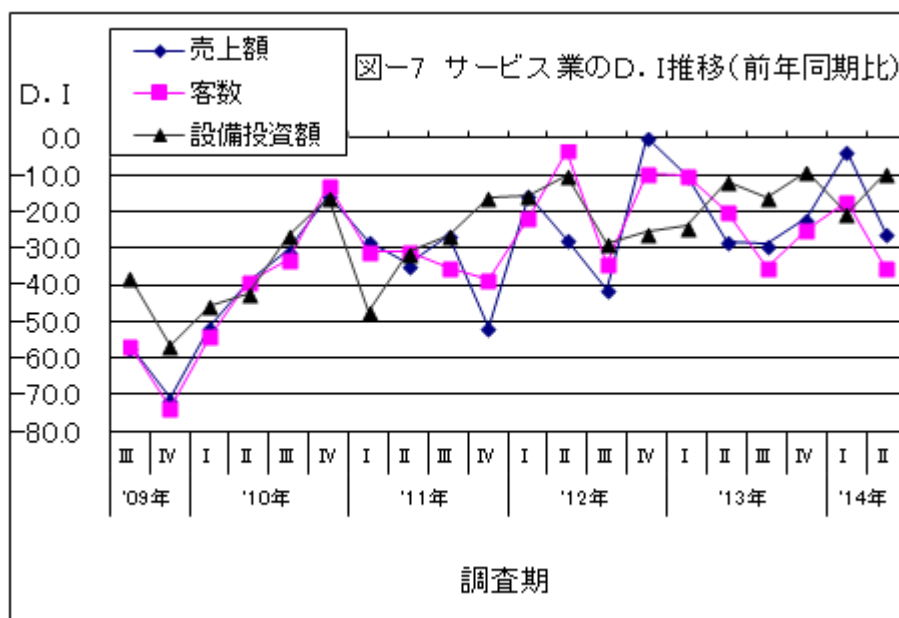
サービス業の売上額は増加が増え、D.Iのマイナス幅が縮小している。採算状況、荒利益率は好転が増え、D.Iのマイナス幅が縮小している。

向こう3ヵ月の景況は好転が増え、D.Iのマイナス幅が縮小している。

表18. サービス業の景気動向

景気動向指標		事業所数	増加	横這	減少	D.I
			不足	適正	過剰	
			値上	横這	値下	
			好転	横這	悪化	
前期比	売上額	33	27.3	36.4	36.4	-9.1
	客数	33	21.2	42.4	36.4	-15.2
	客単価	32	15.6	68.8	15.6	0.0
	採算状況	33	18.2	54.5	27.3	-9.1
	資金繰り	33	15.2	63.6	21.2	-6.1
	荒利益率	33	21.2	45.5	33.3	-12.1
	向こう3ヵ月の景況	33	15.2	60.6	24.2	-9.1
前年同期比	売上額	31	25.8	22.6	51.6	-25.8
	客数	31	16.1	32.3	51.6	-35.5
	設備投資額	31	9.7	71.0	19.4	-9.7

前年同期比では、売上額、客数は減少が増え、D.Iのマイナス幅が拡大している。設備投資額は増加が増え、D.Iのマイナス幅が縮小している。



### — 枚方市の当期の特徴 —

- ・ 製造業は、前期と比べ生産額・出荷額が減少しているが、向こう3ヵ月の景況は好転しており、見通しは明るいといえる。
- ・ 非製造業は、前期・前年同期比ともに売上額が減少しており、今後の見通しも暗い。

自由意見

産業分類	規模	自由意見
総合工事業	B	アベノミクスで景気が良くなったと聞くが一向に建築業界で良くなったと聞かない。
	C	原材料また労務関係の値上りで受注ができない
		・関西の土建屋はダメになる・・・。仕事がない（ゼネコンは別）・なんとかしてよ！！
	D	民間、公共共に発注量減少。
F	賃貸物件は相続税改正に伴い増加見込むが、戸建事業については依然厳しい状況が続くと思われる。	
設備工事業	B	人的に技術の継承、プロ意識の継承が課題、リーダーシップが問われる。業界は堅調に仕事は流れている感あり。
衣服・その他繊維製造業	A	景気は良くなっているはずなのに仕事が減って来ました。分からないもんですね
	C	金融はビジネスチャンスがあっても、材料等の購入資金の応援をしてくれないので困る
パルプ・紙・紙加工品製造業	C	景気が良くないです
プラスチック製品製造業	G	増税前の仮需以上に増税後の落ち込みが大きく低迷中。新しい展開を模索中である
鉄鋼業	C	順調に推移しているが、常に変化の先読みが必要である
	G	原材料及び副資材のコストアップ並びに電力料金値上げ分が販売価格になかなか転嫁できない
非鉄金属製造業	C	景気回復が十分でなく石油関連製品・燃料費大幅な値より分が販売価格に転嫁困難で困っています
金属製品製造業	C	後半の見通し見えてこない
	F	先が読めない。海外調達増加と原材料の高騰が心配です
一般機械器具製造業	D	7月以降多少動きが見える
電気機械器具製造業	E	！！中小企業への景気対策が悪い、遅い！！
その他の製造業	E	難局は続いているが自助努力を重ねて行きたい。政策の評価はさておき、その流れを無視しすぎたことを少し反省している。
繊維・衣服等卸売業	B	関西地区の製造業界が元気にならなければ我々の業界も縮小の一途。がんばろう！！
		燃料費の高騰・E T C割引の廃止等で輸送費のコストが増大しました。
建築材料・鋳物・金属材料等卸売業	A	銀行・金融機関が中小・零細企業に対して冷酷である
繊維・衣服・身の回り品小売業	B	4月以降は客数も商いも大変厳しくなりました。秋口より期待しています。
飲食料品小売業	B	消費税アップはさほど影響はないと世間は言っているが 当社の売り上げ状況みる限り影響あるように思います
		スーパーなど前まで税込み価格の品物を8%加算し、今は税込13%支払っている感じがします。4月から3%加算した品が税込み8%じゃないのですか？
	C	売上は維持できているが固定費の上昇で営業利益は減少している。ガソリンや電気代どうにかなりませんか。



		これから先の商いが不安です。
家具・建具・ じゅう器小売業	B	当社はまだ横ばい・・・努力しても増加しない。新企画、時代に合ったニーズを改革しないといけないと思う。
	D	4月以降増税の為か売り上げ伸びない
	E	2.3月増、4月より減少 今月横ばい
その他の小売業	B	事業の内容を大きく変へ利益の上がる事のみ限定した商売を経費のかからない事業はじめた！人には、やさしくない、イヤダ。ブラック企業といわれる「まね」をした
一般飲食店	B	人がとれない 売上が少し上がったが、その分仕入も上がり利益がでるまでに至らない
	F	5%⇒8%が心配です
洗濯・理容・ 浴場業	B	消費税をどうにかして欲しい。10%になることを考えると恐ろしい。

規模区分     A = 1～3人、B = 4～9人、C = 10～19人、D = 20～29人、  
E = 30～49人、F = 50～99人、G = 100人以上



枚方市産業振興キャラクター  
ひこぼしくん

事業者のみなさまへ  
各種インターネットサイトで  
枚方市の産業振興の情報を  
発信中です！ぜひご覧ください！

- 枚方市役所 産業振興課  
<http://www.city.hirakata.osaka.jp/soshiki/sanshin/>  
★枚方市の産業振興に関する情報を掲載しています。
  
- 枚方市立地域活性化支援センター  
<http://www.hirakata-kassei.jp/>  
★経営相談・起業支援、地域活性化に役立つ講演会やセミナーを開催しています。ひこぼしくんの貸し出しも受付しています。  
★メールマガジンも新しく発行しました。地域活性化支援センターのホームページより登録できます。
  
- 枚方市ものづくり企業支援総合サイト  
<http://www.waza-kirara.jp/>  
★枚方市のものでづくり技術や企業が検索できます。
  
- 中小企業庁「ミラサポ」  
<https://www.mirasapo.jp/>  
★「ミラサポ」の「施策情報」に枚方市の補助金等の情報を掲載しました。